

地域森林計画から外れた森林の間伐実施に向けた取組み

「いわて環境の森整備事業」の候補地(1.32ha)が、地域森林計画区域から外れていたことが判明したため、その課題解決に取り組んだ。

間伐候補地の現状

森林資源管理図では、桑畑となっているが、現況はスギ40~45年生の林分となっている。【造林前は桑畑】地域森林計画の変更協議は、3年後になる見通しである。

森林所有者(18名共有)は、今年度中に間伐作業の実施を希望している。

課題解決への取組み

NPO法人「須川の自然を考える会」がスギ間伐材の提供者を探しているとの情報を入手した。

早速、森林所有者(18名共有)を対象に座談会を開催した結果、間伐作業の実施と間伐材を提供することに全員が賛同された。

両者の代表者が、現地及び協定内容を確認のうえ、協定締結の証として「間伐作業実施に関する協定書」2通に押印し、それぞれ1通を保有した。



間伐候補地の森林現況



協定締結完了